

～南予果樹同志会 1147人を束ねて産地を強化！～  
有友 丈晶さん（宇和島市）

かんきつ農家 南予果樹同志会長 1972年生まれ  
宇和島共選生産部会長



☆経営概況☆

両親と共に温州みかん 3.5ha を栽培し（パート 4 名）、平成 27 年度から南予果樹同志会（会員 1,147 人）会長に就任し地域を引っ張っています。

☆ここがポイント☆

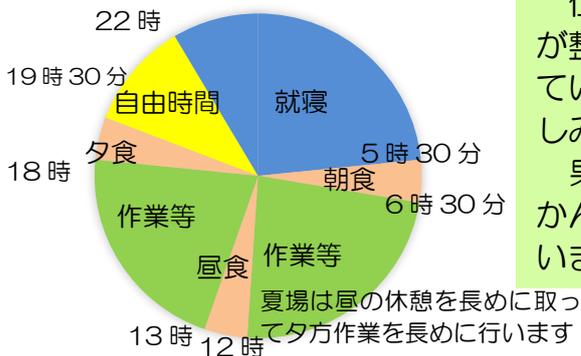
■南予果樹同志会会員が一丸となって産地のレベルアップに取り組めます！

みかんは今の品質からさらにレベルアップして、極上品を作ることを目指し、若い人がいる所は面積を広げて、**共販の安定・高品質生産を確保したい**と思っています。また、ブラッドオレンジは、温暖化により近年新たに栽培が可能となった品種で、生果はもちろんのこと、地元の食品会社等と連携した加工品の売上も増加しており、名実ともに日本一の産地となっています。これからも面積を拡大して、新たな宇和島の顔となるよう推進していきたいと思っています。

■多くの若手農家が後継者として戻ってきています！

宇和島市の柑橘農家は、**所得も 500 万円から 1 千万円の柑橘農家が多く、大卒ですぐ就農する人やリターンやお婿さん、とにかく若者が多くいます。**地域によっては、若手の少ないところもありますが、私は、親の姿を見て宇和島のみかん農家を何とか元気にしたいと思い、会社（自動車の整備士）を辞めてみかん農家を継ぎました。

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

仕事が忙しく、なかなか時間が取れないのですが、以前の仕事が整備士だった関係から、250cc と 650cc のバイクを所有していて、バイクをいじったり、ツーリングをするのが何よりの楽しみです。

果樹同志会や宇和島共選生産部の仲間とみかん研究所等でみかんの研修を行い、その後必ず懇親会をして、情報交換を行っています。めがねをはずすとスイッチが入り、梅酒が進みます。

【一週間のライフスタイル（一例）】

	月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	常に何らかの作業をしています。雨の日は合羽が制服						
【普段】			作業等			■基本的に雨の日は休み	
【農閑期】	は摘果シーズン前の雨の日		作業等	バイクいじり・ツーリング			



全国カンキツ研究大会（長崎県）にて

☆これからの夢や目指すもの☆

■北海道や東北にも宇和島のおいしいみかんを届けたい！

現状では、どうしても東京の市場が中心となっています。東北の復興支援で同志会の仲間がみかんを直接届けた時に、こんなおいしいみかんは初めてだと感謝されました。東北や北海道では、おいしいみかんが出回っていないイメージがあるため、そこを**何とか打開して、販路を拡大し、少しでも多くの方に愛媛の、宇和島のおいしいみかんを食べていただきたい**です。

☆メッセージ☆

■おいしいみかんを子供の時から食べていますか？

子供たちのみかん離れを心配しています。カットフルーツや加工品の販売が増え、みかんをむくことすら知らない子供たちがいます。給食など子供たちに小さい時から宇和島のおいしいみかんを食べてもらうことが大切だと思い、果樹同志会では、**都会へ給食用みかんを送っています。**いろいろな工夫をしながら関心を持ってもらえるように頑張っていきたいです。